

【刊夕】日一十月三年五和昭



休 日曜大祭日
一 月 廿五
二 月 廿五
三 月 廿五
四 月 廿五
五 月 廿五
六 月 廿五
七 月 廿五
八 月 廿五
九 月 廿五
十 月 廿五
十一 月 廿五
十二 月 廿五

石城の民政党内に

極端なる反野崎相

比佐家の葬儀に於て野崎氏の贈れる悔が宙に迷ふ

石城民政黨が現職野崎相の望みなしと語られてゐる。若松美三兩氏の二派に分れ此の間非常な嫉視反目のあることは既に世の知る事實であつて同黨將來の爲甚だ好ましくならずとなす

党内有 志が兩者の

握手提携を時期の問題として私かに配慮されてゐたが此の軋轢は到底復歸の見込みなきを唱ひられるに至つた其の最も甚だしい反目の一つに最近

代議士 比佐家の葬

儀に際し野崎氏の贈れる悔みを受付係が突返したので拒絶された野崎氏は靈前に供ふるものを他の知る所になしと之れを受けず端なくも悔が宙に迷つて今その

悶着中

であつて地方稀に見る當日の盛儀には反對黨である、政友會の有志連も多数参列された清浄なる佛事に此の事あるは勿論比佐氏の意志ではあるまいと云はれてゐるが反感も此の極に至つては全く融和

小名濱の公設質屋不振

利子は安いが 評價が低い爲

石城郡小名濱町の公設質屋は去拾五日から開設されたが廿九日迄の入質僅かに拾三點四拾六圓四拾錢に過ぎず經營難を傳へられてゐる原因は利子は安いが評價が低く貸金が少ない結果らしい

磐城中學の

入學合格者

猪狩功、大平光夫、箱崎彰、金成正雄、織内好文、猪狩成彦、遠藤清八、小松貞治郎、坂本光平、坂本正一、志賀良度、佐藤力夫、阿部源一郎、佐藤久男、若松磯一、佐藤傳山本吉五郎、石井弘道、川島正巳、伊達頼弘、涌井勝美、吉田真、鈴木佐太郎、草野泰昌、楠正傳

弘、植田文夫、芳賀四郎、阿部瑞男、猪狩次男、佐藤信嘉、沖田輝雄、早川榮久、猪狩一郎、志賀佐一、佐藤正雄、小野昌彦、鈴木裕、岩崎勳、小金森貞衛、小島隆典、重田幸造、菅波七郎、熊谷明、田中英男、瀧口末吉、渡邊保一、猪狩勝己、森下藤雄、松原幸作、小牧忠雄、貝原孝正、佐藤利長、大友章、引地憲中、城野三郎、荻野弘、谷平嘉彰、殿木隆之、鈴木謙司、太由正三、中野久男、小林房治、小野忠一、乾功、林義雄、酒井英世、渥美裕行、柴田忍、永山弘、太田修一、志賀豊、越智廣徳、佐藤稔、新妻忠直、三島五郎、吉田秀男、岡常夫、高木資藏、矢吹利平、波立一二三、佐藤健治、長谷川充男、阿部知之、佐藤忠一、菅本久一、草野敏雄、中澤利夫、吉田伴三、藁谷政男、中島義男、高野光雄、古川良一、鈴木義雄、島崎英美、村山讓二、猪狩三千夫、小野景造、飯島徳治、野田照雄、松崎莊枝、花澤保夫、金子元彦、和田一郎、志田智一、小野清、長谷川繁雄、北郷通、山口善重、鈴木順治、山邊彌八郎、伊東儀郎、遠藤福藏、鈴木正治、川瀬邦治、山添尚三、新妻正、鈴木晃、江尻清、中大、矢吹功、北郷丈夫、小林二郎、會川三郎治、鈴木一夫、利根川正徳、鈴木

守護札を書いて 卒倒する

地藏寺の住 職腦溢血で

石城郡神谷村の上片寄真言宗地藏寺住職和田法嚴(五七)師は去る廿五日同郡大浦村の最勝院に於て守護札書きを手傳つてゐたが突然腦溢血を起して卒倒し手當を盡したが効なく遂に遷化した

飯野青年總會

石城郡飯野村青年團では來四月三日午前九時から同村小學校に總會を開き橋本警中校長の講演がある

御大谷口氏を失つて 後任難の平料理組合

組合長は必ずしも男に限らず 女子力も口喧ましい女將連 曲折あるものと唱

平町の藝妓屋及び料理店組合では組合長谷口仁太郎氏ひられる中に藝妓屋側では逝去されて去卅日盛んな林屋主人である縣議野崎氏の送葬を済ましたが後任のは政治的方面に進出せんと食指に難を告げ此の決定してゐるので現幹部の玉川三好、湖月邊の所に落つく

想像さ れるも料 屋側に至つては旅館業 者を除いて全く其人に乏し

権勢が なか／＼に

御大谷口氏を失つた後の想像さ れるも料理屋側に至つては旅館業者を除いて全く其人に乏しい女主人の多い同業として御大谷口氏を失つた後の権勢が なか／＼に凄まじく老店の越の家及び竹本の女將その他押も押されぬ女將の他を引出して組合長は必ずしも男に限つたものでないと思はれるから此の成ゆきは相當興味あるものと見られてゐる

女將にふざけ 検束さる

平町の鎌田町居住齊木駒之助(五七)は去廿九日午後九時頃同町町料理店浪花方に於て飲酒の酔餘同家の女將にふざけ足を取つて轉がしたのを傍らに見てゐた亭主が憤慨すると同人を毒づいた上藤子箱子敷を蹴破る亂暴を働きたり檢束されて翌日説諭の上放還さる

農事講習同 窓會の總會

石城郡農事講習同窓會は今卅一日午前九時から平町公團體事務所樓上に總會を開き前年度決算並に六年度豫算を附議し役員の改選を行つた

赤 痢

一家三名が 平町の舊城跡高澤澤廣方では長女はつえ(三)二女ゆき(二)三女とし(二)の三名同時に赤痢に罹り昨卅日隔離學校を志望した本年の生徒舎に收容された

小學生用 豚皮 一圓廿五錢 馬皮 一圓九十錢 牛皮 三圓三十錢 背 囊 中學用 一圓六十五錢 女學生用 各種 手提カバン

マルの 商品券

マルトモ食堂にも 共通御利用を

◎新學年用 紙質、綴型 すべて優秀 ◎御贈答用 巻紙封筒(箱入) 七、八十錢より 一圓二、三十錢まで

畜養方面

點燈養鶏 (五)

養鶏事業の根本問題は

點燈養鶏は歐米諸國にも行はれて相當の應用効果あるを報じ我が農林省畜産試験場に於ける結果に見るも左記の如く

「例の一」春孵化鶏十七羽の増産五一三個(一五二パーセント)二九〇七瓦、卅圓廿五錢増収「例の二」春孵化鶏廿一羽の増産二一六個(五九三パーセント)一五九三三瓦、拾五圓四拾九錢増収「例の三」春孵化鶏廿羽の増産二〇二個(一四四パーセント)一七五七四瓦八圓五拾九錢増収、

即ち平均個數に於て四拾四パーセントの増産を示し價格に於て一羽當り約一圓四錢五厘の増収になつてゐる。然しながら點燈飼育は一面、不自然な方法であるから鶏の健康、並に飼料との關係を考慮すると同時に一般管理に充分の注意を拂はねばならない、そうでないと却て鶏體を損じて不良の結果を招くおそれがある、相當の羽數を合理的に集約的な飼育をする場合に應用して收益があるが經驗に乏しい養鶏家がたゞ漫然と手を染めても少しの利益がないのみでなく却て危険である。

プラトン 萬年筆
プラトニンキ
特約店

山野邊藥局

元 詰 G.H.N
葡萄酒 甘味 荷蘭
ワイン 一ト 1.10
平町五丁目
西村屋藥舖 (電話三二)

賣廉品良の賣採客街

山澤荷入物春

店服吳閑伊 (伊) 平町

そばからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります。そば一升 三錢、そばこ 八錢、そば 一升 五錢。

平町土橋 福麥 マルマン商店 電話四八九番

外科、小兒科 平町、電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

煙突は 朝日
石綿セメント製
朝日煙突
経済的で やけにくい! ぐらつきにくい!
火災の心配がない
金屋商店

第卅 産婆看護婦 生徒募集
三回 卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ケ年
一入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上ノ學力有ル者へ無試験入學ヲ許ス
一申込期間 四月八日に
平町一丁目 (電話三五七番)
石城 産科婦人學校
校長 鷹崎千代

表代城磐 酒銘
命
味美 經濟 純正
油 普ルマヤ
社會名合崎山
香十話電

藤田女學校生徒募集
(1) 本 科 五十名
(2) 裁縫專修科 三十名
(3) 師範科 二十名
(4) 專攻科 若干名
(5) 本科、裁縫科第二學年補欠 若干名
右希望者ハ至急願書提出ノコト
詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ
昭和六年三月
福島縣平町田町
文部大臣 藤田女學校
認可
電話三三八番

時金なりタイムを正確精幸堂
皆な世の爲店ノタメチヨイナク
共存共榮をモットーとする
精幸堂

廿餘名博士 推獎 胃腸病、婦
五十餘名醫大家 推獎 人病必治法
定價 特大 拾參圓 特小 拾圓
ラヂウム温灸治療器
五週年紀念景品付大賣出し
東京理學院後援
期自三月一日 景特大一ケニ付卷法藥一ケ
間至三月卅一日 品特小一ケニ付艾一ケ
其他組品進呈
特 平町五丁目廿八
約 志賀齒科醫院
部 平町白銀町九
產婆關口悦子

學生用カバン 14錢より
總草製ランドセル 98錢より
各種學生帽
ヤルツ
〇四一電・四平

裁縫 模範
裁縫 範
高島屋の洋服
平町驛前 電話三八六番
春着の 御用意は 高島屋へ
新柄着荷